

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 3 月 16 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/16 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.7 m ³ /h	23.4	107.5 kPa abs	A系:0.00 vol% B系:0.01 vol%
		給水系：約 4.7 m ³ /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 6.0 m ³ /h	40.9	17.90 kPa g	A系:0.11 vol% B系:0.11 vol%
		給水系：約 2.7 m ³ /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 5.4 m ³ /h	52.7	0.31 kPa g	A系:0.19 vol% B系:0.19 vol%
		給水系：約 1.7 m ³ /h			

*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【1号機】【2号機】【3号機】【4号機】【5号機】【6号機】・特に変化なし

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (3/16 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中*	27.0
2号機	循環冷却システム	停止中	24.9
3号機	循環冷却システム	運転中	13.6
4号機	循環冷却システム	運転中	26

*システム二次系エアフィンクーラー:停止中

【2号機】

- ・1/19 11:50～ 使用済燃料プールの塩分濃度を低減させるため、塩分除去装置の運転を開始。
- ・3/13 10:31 使用済燃料プール代替冷却システムにおいて、一次系循環ポンプの吸込圧力に低下傾向があったことから、一次系ストレーナを手動洗浄式に交換および弁の点検作業等を実施するため、使用済燃料プールの冷却を一時停止。停止は3/16迄を予定。この間の使用済燃料プール水温度の上昇は約21℃の見込み(停止時使用済燃料プール水温:約14.1℃)。
- 3/16 13:12 当該作業を完了したことから使用済燃料プールの冷却を再開。
(冷却再開時使用済燃料プール水温:約24.9℃)

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	3/11 8:47～ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	3/15 8:46～ 移送実施中
6号機	6号機 タービン建屋	→	仮設タンク	3/16 10:00～16:00 移送実施

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/16 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	運転中	運転中	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H24/3/16 南側開閉所の運転開始に伴い、所内電源系の受電切り替えを実施するため、10:01 にセシウム吸着装置、10:02に第二セシウム吸着装置を停止。その後、切り替え作業を完了したことから、14:32 に第二セシウム吸着装置を起動し、14:36に定常流量(約 42.6 m³/h)に到達。14:55 にセシウム吸着装置を起動し、14:58 に定常流量(約 19.8 m³/h)に到達。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。

以上